

2020年1月23日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ ド レ ッ ク ス 代表者名 代表取締役社長 松 村 米 浩 (コード番号: 4586 東証マザーズ) 問合せ先 経 営 管 理 部 長 藤 岡 健 (TEL. 03-3664-9665)

酸捕捉剤を含有する貼付製剤に関する特許(米国)査定のお知らせ

当社が出願中の「酸捕捉剤を含有する貼付製剤」について、米国特許商標庁(USPTO: United States Patent and Trademark Office)より特許査定の通知があったとの連絡を当社代理人より受けたことをお知らせいたします。

本特許は、痙性麻痺治療貼付剤CPN-101 (MRX-4TZT、チザニジン*テープ剤)をカバーする特許の一つであり、有効期間は2036年迄です。本特許は、米国の他、欧州、中国に出願中です。

本件が当社グループの2020年12月期業績に与える影響はありません。

以上

《ご参考》

* チザニジン

チザニジンとは、中枢性筋弛緩剤(脳や脊髄にある中枢神経に作用して筋肉の緊張を緩和する薬)の一種で、痛みを伴う肩こりや腰痛、五十肩、緊張性頭痛等の治療及び痙性麻痺等の筋肉がこわばる症状の治療に使用されています。CPN-101(旧コード: MRX-4TZT)は、イオン液体を利用した当社の独自技術ILTS® (Ionic Liquid Transdermal System)を用いて中枢性筋弛緩薬であるチザニジンのテープ型貼付剤を製剤開発したものです。

2017年4月、当社は、MRX-4TZTに関して、インドの製薬会社 Cipla Ltd.の米国100%子会社である Cipla USA Inc.との間で、世界的な開発・販売ライセンス契約(ただし、東アジアを除く)を締結しました。その後、Ciplaグループ内の再編により、契約相手先はCipla Technologies, LLC(以下「Cipla Tech」という)に変更となっています。2019年9月、臨床第 I 相反復PK(pharmacokinetics)試験(P1b)に成功しています。今後の開発については、Cipla Techが主体となり臨床第 II 相試験を準備中です。